

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【 書写 】

| 書名 項目 | 新しい書写 (東京書籍) |
|---|--|
| 教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領に おける教科の目 標とのかかわり | ○書きぞめや四季の言葉を取り上げて、日本の伝統と文化に目を向けさせている。また、「防災訓練」を題材として、社会への参画も意識させる工夫をしている。 ○楷書と行書の特徴を理解させ、場面に応じた表現を考えさせる題材を取り上げている。 ○47都道府県にある石碑などの文字を紹介したり、学校や地域の中での生活に即した題材を取り上げたりすることで、手書き文字の意義に気づき、その良さを生かすことができるようになってきている。 |
| 特色 | <p data-bbox="240 607 1423 645"><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p data-bbox="240 645 1423 745">○各教材に目標と学習の手引きを設けている。毛筆は筆の穂先の動きを濃淡のある朱墨で示し、硬筆でも鉛筆の筆圧による濃淡が表され、運筆の仕方がわかるようになってい</p> <p data-bbox="240 745 1423 784"><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p data-bbox="240 784 1423 853">○「生活に広げよう」という単元で、手紙や掲示物などの実生活に役立つ教材を取り上げている。</p> <p data-bbox="240 853 1423 922">○「生活を豊かにする文字」という単元が配置され、職場訪問や防災訓練を題材に、生活に広がる書写活動ができるようになってきている。</p> <p data-bbox="240 922 1423 960"><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p data-bbox="240 960 1423 1061">○各教材に目標と連動した自己評価欄を設けている。また、学習の手引きを「調べよう」「確かめよう」「広げよう」の3段階にし、生徒が目的意識をもって学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p data-bbox="240 1061 1423 1099">○ノートを書くことを取り上げ、他教科でも学習に生かせるようにしている。</p> <p data-bbox="240 1099 1423 1169">○3年の最後には入学願書や志願理由書を取り上げ、学んだことを生かす工夫がされている。</p> <p data-bbox="240 1169 1423 1207"><国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる工夫></p> <p data-bbox="240 1207 1423 1276">○毛筆の前後に硬筆で書く学習を取り入れ、毛筆と硬筆を一体化させて学ばせる工夫がされている。</p> <p data-bbox="240 1276 1423 1346">○小学校の学習事項を確認する導入教材が配されている。また、高等学校書道へ接続するよう、巻末に日本と中国の古典資料が提示されている。</p> <p data-bbox="240 1346 1423 1460">○日本の伝統と文化に触れられるように、「竹取物語」「平家物語」「おくのほそ道」などの古典作品が取り上げられているほか、「いろは歌」「書き初め」「年賀状」「二十四節気」なども取り上げられている。</p> |
| 資料 | ○用具の発達、文字の変化が写真を使って示されている。 ○巻末には「いろいろな書式」「書写テスト」「漢字の成り立ちと変遷」「常用漢字表」「人名漢字表」など六つの資料がまとめて提示されている。 ○巻末折込として、月の異名、二十四節気、和歌などが提示されている。 |
| 表記・表現 | ○毛筆手本の中心が記号で示され、筆使いのポイントが、記号・点線などや濃淡や色使い、字形を示す点線などで視覚的に表現されている。縦置きにするとほぼ半紙大となり、見やすい手本であり、上部には書く時のポイントが掲載されているページがわかるようになっている。 ○教材ごとの目標が最初に明示され、3段階の手引きが3人のキャラクターを使って示されている。さらに自己評価もできるようになっている。 |
| 総括 | ○まず目標が明示され、学習の進め方が3段階で説明され、学習活動や学習内容がとらえやすくなっている。また学習後の自己評価で、学習内容が再確認できるなどの点でこの地区の子どもたちが使用するのにふさわしい。3学年分が一冊にまとめられ、既習内容をいつも振り返ることができる。横幅の広い版型で、他の教科書と紛れにくく、見やすくなっている。目次がすっきりしていて、題材もわかりやすくなっている。 |

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【 書写 】

| 書名 項目 | 中学校書写 (学校図書) |
|---|---|
| 教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領にお ける教科の目標と のかかわり | <ul style="list-style-type: none">○紙面を点線により区切ることで文字のバランスや配置が理解しやすくなっている。また、筆順を赤で示したり、筆の動きを矢印で示し書き方のポイントを簡潔に添えたりすることで運筆も理解しやすくなっている。濃淡のある朱墨と薄墨を用いて視覚的に示すことで、筆の動きが穂先までわかりやすくなっている。○楷書と行書の学習のまとめとして、それぞれの活用場面について考え、具体的に使い分ける内容が設置されている。写真による資料も掲載されている。○コラム「書写の窓」等で、文字の歴史や書に関する資料が豊富に掲載されている。また、書写学習の意義や、日常的な書写事例も多く提示されており、書写の基本的な技能に加え、文字を書くことの必要性を生徒自らが見いだせる工夫がされている。 |
| 特 内 容 | <p>＜基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none">○教材ごとに、目標と目標達成に向けたポイントが明記されている。また、手本とともに筆順・運筆・字形について細かく解説されている。毛筆で書いた後は必ず硬筆で書く、という流れで進められており、基礎的・基本的な知識・技能の定着がはかられている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成する工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none">○日常的な書写事例が豊富に掲載されている。特に「書写を生活に生かそう」という單元では、手紙や作文と言った一般的な事例だけでなく、看板・行事関連の掲示物・宅配伝票やのし袋というような生活に密着した例が、筆記具による文字の違いや字の大きさ・配置の効果等と併せて挙げられている。○各学年の取り組みにおいて段階を追って章立てられ、ねらいを意識しながら取り組ませる構成になっている。 <p>＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none">○「学習の進め方」を設置し、自ら学習に取り組むための手順やポイントが示されている。また、授業だけでなく自主学習もしやすいワークシート形式が用いられている。○「振り返って…」という自己評価欄では、学習の目標と連動した自己評価の項目を複数おき、生徒自身の達成度が明確になるようになっている。 <p>＜国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none">○手本文字として、『竹取物語』や『枕草子』といった古典作品や『いろはうた』などの和歌が多く使用され、伝統的な言語文化に触れられるようになっている。○ことわざや、国語の教科書にある古典以外の作品の一節を利用したり、また「職場体験」「修学旅行」「文化祭」「卒業式」など学校内外の社会に関わる取り組みを題材として利用したりすることで、身近なもの・生活の中のものや国語のつながりを生徒が感じやすくなっている。 |
| 色 資 料 | <ul style="list-style-type: none">○鑑賞用ページ「書写の窓」で生徒の興味・関心を引き出すものが紹介されている。臨書や篆刻を体験するという発展的な内容もあり、他教科や高校書道の学習へと繋がっている。○楷書の許容字体、書き文字と活字の違い、行書での漢字一覧表が巻末に「資料編」として集約・掲載されている。○単元の扉のページには全面に写真が掲載されている。資料なども写真が多く、生活と書き文字の結びつきがわかりやすくされている。 |
| 表記・表現 | <ul style="list-style-type: none">○教材ごとに明記される目標・課題のところには、筆と鉛筆のマークが入られ、その課題が毛筆なのか硬筆なのかのわかりやすくなっている。また、課題は短い言葉でまとめられ、生徒が理解しやすいようになっている。○課題の字に対し、書き順や運筆についてなど、朱書きで細かくポイントが書かれている。また、筆の運びを更にわかりやすく示した中抜き文字の図で、筆の穂先の動きがわかりやすくなっている。 |
| 総 括 | <ul style="list-style-type: none">○3年間で一冊となっていることで、3年間の学習内容や、日常生活での書き文字の活かし方などが、よりつながりをもって見えるようになっている。学習プロセスも明確化されており、学習の目標や振り返りも簡潔に示されている。それにより生徒も自らすすんで取り組みやすく、家庭での自主学習にも活用でき、生徒の自主的な学習も期待できる。 |

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【 書写 】

| 項目 | 書名 現代の書写 (三省堂) |
|---|---|
| 教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領に おける教科の目 標とのかかわり | ○毛筆字形図では、楷書・行書の基本点画を、朱墨と薄墨を用いて筆の穂先の動きを示した図版を提示することで、毛筆の筆使いのポイントが示されている。 ○「書いて確かめよう」の欄では、毛筆・硬筆両方で、理解したことをすぐに確かめられるようになっている。 ○大単元のあとには「生活に生かそう」が配置され、学んだことを生かし、生活の中で使えるようになっている。 |
| 特色 内 容 | <p>＜基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫＞</p> <p>○教材ごとに目標が明示されている。毛筆では穂先の動きがわかるように穂先の部分を朱墨で示している。 ○書くときの姿勢や筆記具の持ち方のほか、毛筆では用具の置き方や墨のすり方、用具の片づけ方も図示している。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成する工夫＞</p> <p>○各学年の「生活に生かそう」という単元で、実生活に役立つ教材を取り上げている。 ○文や文章の整え方、書体の使い分けなど、日常生活の中で自ら考え、利用できるよ うになっている。</p> <p>＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞</p> <p>○教材の目標に対し、「考えよう・話し合おう」でめあてについての問いを設け、自ら考 えて学習に入っていく工夫をしている。 ○学習の流れが、めあてを持つ→考えよう・話し合おう→書いて確かめよう→振り返 う、というパターンになっていて、自分で学ぶ姿勢を作れるようになっている。</p> <p>＜国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる工夫＞</p> <p>○毛筆・硬筆で学んだことを毛筆・硬筆で「書いて確かめよう」としていて、書写力を高 める内容となっている。 ○行事の目標や本の紹介、身の回りの文字の工夫など、生活に生かす書写の例を多く取り 上げ、書写で学習したことをほかの場面でも生かせるようになっている。また、生活場 面に応じた書き方について話し合うことや、「書いたもので交流しよう」などで、「書く こと」「話すこと・聞くこと」との関連が図られている。 ○古典の書や詩歌を紹介したり、毛筆用具の製法なども取り上げたりすることで、伝統的 な文字文化に触れるようにしている。 ○書き初め教材や年賀状で様々な書字文化に触れ、興味関心を持つようにしている。</p> |
| 資 料 | ○姿勢・筆記具の持ち方のほか、用具の置き方、文房四宝など写真や図で示している。 ○巻末の「資料編」では、日常の書式がまとめて見られるようになっている。また、楷書 と行書の一覧表が硬筆文字で示されている。 |
| 表記・表現 | ○毛筆手本の中心が記号で示されている。さらに、筆使いのポイントが、記号や点線、穂 先がわかる濃淡等で示されている。 ○各学年の表紙に様々な和紙を使っている。 ○男女の中学生、大人、鳥のキャラクターを用い、随所で学習を働きかけている。 |
| 総 括 | ○教材ごとの学習内容や目標が示され、その意義について考え話し合っ て、気づいたことをもとに学習できるように構成されている点でこの地区の生徒が学習 するのに適している。ワークシートとして硬筆で書き込めるようになっており、 毛筆の学習の確認もできる。3年間分を一冊とし、適宜振り返りながら学習す ることができる。 |

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【 書写 】

| 項目 | 書名 中学書写 (教育出版) |
|---|---|
| 教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領に おける教科の目 標とのかかわり | ○字形については、文字の作りに注目させ、線や図形を用いて示している。また、配列については、様々な書式に合わせて示されている。行書については、楷書と隣り合わせで並べることにより、特徴を明確に示している。 ○表紙裏に「目的に合わせて書こう」を設定し、目的に合わせて、相手、方法、その効果が確認できるようになっている。 ○硬筆教材には、国語との関連から文学作品や古典などの学習内容が取り上げられている。また、日本の伝統や文字への関心が高められるよう、文字の変遷や歴史上の人物の書を図や写真で示している。 |
| 特 内 容 | <基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫> ○書くときの姿勢、用具の使い方について写真で示されている。基本点画を朱墨の濃淡で示し、矢印を用いて解説が加えられている。教材ごとに目標が示され、目標、考えよう、活用、まとめ書き、振り返りの流れで進んでいる。 <思考力、判断力、表現力等を育成する工夫> ○教材ごとに目標の提示の後、「考えよう」で生徒自身が自分の課題を確認するようになっている。また、「生かそう」で学習したことを、他の文字に生かして書く課題が設定されている。さらに、「書式の教室」として活用の仕方が示され、書写の学習が日常生活につなげられるようになっている。 <主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○学年ごとに発展教材、補充教材集がある。また、「社会で生きる文字」では、書写の学習が、社会の中でどのように生かされているかを具体的な場面を取り上げて示している。 <国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる工夫> ○硬筆教材には、国語で学習した文学作品や古典の学習内容を取り上げるとともに、絵巻や写本、作者直筆の書を示している。また、歴史上の人物の書も写真で紹介している。 |
| 色 | 資料 ○姿勢と用具の使い方、基本点画が写真で示されている。 ○「用具の作り方」、「文字の変遷」が写真や図で説明され、日常生活での活用例も、具体的な生徒作品を用いて写真で紹介している。 ○巻末では、部首によって分類された行書の一覧表を、「小学校で学習した漢字(1006字)」「中学校で学習する漢字(1130字)」に分けて示している。 表記・表現 ○毛筆手本の中心が記号で示され、筆使いのポイントが、記号や矢印、朱書きの濃淡、穂先の写真などで視覚的に示されている。 ○「学習の進め方」に関わる見出しには、統一された色、記号を用いている。また、各学年のページ、資料が開きやすいよう、4色に色分けしたインデックスがつけられている。 ○学習のポイントは、中学生の男女のキャラクターを用いて示している。 |
| 総 括 | 3年間の学習内容が一冊にまとめられている。「学習の進め方」が明確にされている。教材ごとに目標提示の後、「考えよう」で生徒自身が自分の課題を確認し、「生かそう」で活用し、表現する場が設定されている。身近なポスターや看板から、歴史的な建築物や絵巻まで様々な書を取り上げている。学校生活や日常生活の場面に活かすための課題も取り上げられている。 |

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【 書写 】

| 書名 項目 | 中学書写 (光村図書) |
|---|--|
| 教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領に おける教科の目 標とのかかわり | <ul style="list-style-type: none">○「文字の外形と中心」「点画の組み立て方」「部分の組み立て方」の3つの柱で整理され、丁寧に図を使って示し、字形の整え方を習得できるようになっている。○楷書と行書が比較されており、行書のポイントを「丸み」「方向や形の変化」「連続」「省略」「筆順の変化」の5つの視点で整理し、それぞれ参照するページが示されている。○手紙や歌、文章のレイアウト、レポートを書いて発表する学習など、文字文化への関心が高められるような内容も取り入れられている。 |
| 特 色 | <p>＜基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none">○教材ごとに目標が明示されている。穂先の動きを朱筆で示し、字形を線や点線で示し、筆づかいや字形を理解させている。硬筆では筆順が示されている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成する工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none">○1・2年生は「楷書・行書の書き方」を中心に、書写の基本を学べる内容になっている。3年生は「目的や必要に応じて効果的に書こう」のような発展的学習において、様々な実例や場面を写真や色を使ってわかりやすく具体的に例示している。一つ一つの目標も明示され、効果的に書かせる工夫がなされている。 <p>＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none">○学習の進め方を明示し、ページの終わりで振り返りができる。1年生では補充教材、2・3年生では選択教材を設け、個に応じた主体的な学習が出来るよう配慮されている。 <p>＜国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none">○毛筆の学習で筆づかいを習得してから、同様な課題で硬筆練習ができるようにしてある。○系統的な指導として、3年間の学習内容を一冊のテキストで構成し、書写学習の見通しが持てるようにしてある。発展的な学習をする際も、基礎的・基本的な内容を振り返りながら学習できるようになっている。○国語の学習に生かせる教材は、色やフォントで強調されている。「情報を発信しよう」では、発表する活動が示され、「話すこと・聞くこと」との関連が図られている。「文字を効果的に使うために」等では、美術科との関連が図られている。○「コラム」では文字の歴史などが写真を使って紹介されるなど、文字に関わる情報を多く紹介しており、生徒の文字に対する興味関心を高める工夫がある。また「未来に向かって」では卒業記念品作成の例が取り上げられている。○「枕草子」「万葉集」など、国語で扱う古文の教材を積極的に取り上げ、生徒の興味を喚起している。季節や行事に関わる題材も多く取り入れられ、学校生活に生かせるようになっている。仮名の学習の手本は「いろは歌」である。 |
| 資 料 | <ul style="list-style-type: none">○用具の扱い方・姿勢と筆記具の持ち方が、写真を使って示されている。○「コラム」「資料」のページがあり、教材や学習内容に沿った写真や図が掲載されている。○巻末には、楷書・行書を併記した硬筆体の漢字一覧表が示されている。 |
| 表記・表現 | <ul style="list-style-type: none">○ゴシック体が多く用いられている。学習の指示は単純明瞭で、筆使いやポイントとなる点画は朱書きで表されている。○キャラクターのイラストが多くページに登場し、吹き出しを使ったアドバイスが数多く使われている。 |
| 総 括 | <ul style="list-style-type: none">○3年間の学習が一冊にまとまっており、更には単元ごとに目標が提示され、毛筆と硬筆を関連づけて取り上げられている。資料が多く、楷書から行書への学習の移行がしやすく構成されている。写真やカラー、朱書きを使って筆使いのポイントが示され、説明がわかりやすくなっている。 |